

町当局は

# 10億円の事業計画を中止、財政健全化計画は修正せず

代替え学校運動場整備計画

一般財源(資金)1億8千万円、借金7億8千万円の事業

町財政を圧迫する  
公共事業費が減った分、  
町民負担増を減らせるはず

今年度から5年間の 田尻町財政健全化計画(案)

	共産党の提案	町の計画案
福祉・行政サービス	住民説明会で助役も認めたように「田尻町は20億円で標準的な行政ができる」 税金は30億円以上あるので、町独自の施策は維持できます。	町の独自施策の廃止 幼・保の保育料をはじめ料金値上げ <b>6億8千万円の料金値上げ・負担増</b> ↓1億8千万円は確実に減額可能 修正 <b>?</b>
人件費	議員・町職員も賃金4%カットで2億円の削減を追加 <b>3億4千万円の削減</b>	賃金カットは町長10% 特別職5%だけ パート削減、退職「肩たたき」など <b>1億4千万円の削減</b>
役場の体制	部長制を課長制にもどし 抜本改革一歳出総額の3割にふくれる人件費を削減し、仕事を迅速に	町民の要望には、再構築を行い増員を抑制する
公共事業	学校給食場の修繕、児童増加にともなう仮設校舎、町営住宅の建替え、他はすべて凍結・削減 <b>2億1千万円の削減</b> ↓代替え運動場整備費の一般財源1億8千万円削減を追加 修正 <b>3億9千万円の削減</b>	●維持費4年で800万円(200万円/年)かかる芝生整備 ●平成18年度から、府道拡幅の肩代わりを実行、総額3.2億円の計画 代替え運動場整備費の一般財源を削減 修正 <b>1億8千万円削減</b>
目的基金の取り崩し	福祉基金2億6千5百万円、グローアップ基金5000万円を取崩し、福祉・教育の財源確保 <b>3億1500万円の財源確保</b>	芝生広場と青少年会館の建設のため、開発のための基金だけを取り崩す <b>1億4000万円の財源確保</b>
効果額	町民負担増なしで <b>10億4500万円</b>	町民負担増 6億8千万円のまま <b>11億4000万円</b>

代替え学校運動場整備計画とは…

住宅開発によって小学校児童数が増加します。そのためプレハブの仮設校舎を建てなければなりません。運動場が狭くなると判断した町当局が、公民館横のトーマン所有地の土地半分(半分は住宅開発)を買い取り、代替え運動場に整備しようと総費用約10億円を計画していたことです。

町当局は「住民投票」にあたり町民への公共事業計画の情報提供と財政健全化計画(案)の修正報告を拒否

住民投票の告示日の前日、の十六日、全員協議会が開かれ、町当局は、約十億円の代替え学校運動場整備計画の中止を表明しました。田尻町が提示する購入価格(鑑定価格)と相手の希望価格とに開きがあるためです。

財政健全化計画(案)では、公共事業計画がしめされています。

共産党議員団は、改めて町民への公共事業計画の情報提供と財政健全化計画(案)の修正報告を町民に行うよう求めましたが、町当局は応じようとしませんでした。



## だいぶ変! 町当局の「健全化」計画

- ▼今年度、現在計画ゼロなのに、毎年三千万円もの道路の新設十年間も計画!
- ▼「青少年会館」の建設が今すぐ必要?
- ▼「福祉基金」二億六千五百万円をとりくずさず福祉を削る!
- ▼なぜ「管理職手当」一年千三百万円すら削ろうとしないの?
- ▼「たばこ税」を府に来年度から10億円以上上納しても、府道拡幅を田尻町がするのでしようか?

部長4万円  
課長3万円

記事の訂正

「たじり民報」一五二号で「来年度から、たばこ税は、二億七千五百万円で約三・六倍に落ちます」の記事を「二億円で約二・六倍に落ちます」に訂正します。

日本共産党田尻町支部と議員団は、町政報告と見解を発表しました。